

## 別添 1: 援助モダリティの組合せ(具体例)

### ケース 1-1: タンザニア 一般財政支援 (PRBS/PRSC) Poverty Reduction Budget Support /Poverty Reduction Support Credit

|         |  |
|---------|--|
| 開始      | 2001 年よりパイの債務救済基金より独立、PRBS へ。<br>2002 年度(7 月開始)より世銀 PRSC とパイ PRBS の共同実施。   |
| 規模      | <ul style="list-style-type: none"> <li>参加ドナーは 11 カ国(日本は債務救済無償資金を利用して参画)。</li> <li>2003/04 予算構造:援助は全歳入の 45%、うち一般財政支援は全歳入の 16%。</li> </ul>   |
| 実施体制    | <ul style="list-style-type: none"> <li>政府・ドナー間の対話プロセスは以下の 3 つ<br/> 貧困削減戦略(PRS)目標に基づく評価枠組みの下でのパフォーマンスのレビュー(Performance Assessment Framework: PAF*)<br/> 予算内容、執行状況のレビュー<br/> 貧困モニタリング</li> <li>PAF の執行状況の確認と次年度 PAF の内容が策定されることを以って、デイスバース実行。</li> <li>将来的には各セクターで実施する公共支出レビュー(PER)とのリンクを深め予算とサービスデリバリーの連動に配慮する方向を模索。</li> <li>公共財政管理改革プログラム 2003-2007 年を実施予定(バスケット・ファンド、13 カ国が関心表明済み)。</li> </ul> |
| 現時点での成果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>PAF の実施を以って、よい政策・制度が実現されつつある?</li> <li>PRSP 優先 7 セクター(教育・保健・水・農業・道路・司法・HIV/AIDS)への予算配分の着実な増加。PEDP 等のセクタープログラムの実施資金を提供。</li> </ul>   |

\* Performance Assessment Framework: PRS 目標達成のための具体的な政策行動が列挙されている。例えば、所得貧困の削減目標達成は、民間セクターと農業振興の 2 本柱からなり、前者にかかる具体的行動は、ビジネス環境改善マスタープランの策定、後者については農業セクタープログラムを実施に移すことや土地制度の改革等である。

出所: Tanzania Joint PRBS and PRSC Annual Review –Review Report, Final Draft 2003.12.20.

### ケース 1-2: タンザニア初等教育開発計画 (PEDP) Primary Education Development Plan

|       |  |
|-------|--|
| 開始    | 2001 年 7 月計画承認<br>2002 年学年度(1 月開始)より実施、ドナーによるプーリング・ファンド、セクター財政支援の開始。   |
| 活動    | 就学の拡大、質の向上、キャパシティ・ビルディング、人的・物的・財政資源の有効活用の 4 本柱。  |
| 実施体制  | <ul style="list-style-type: none"> <li>所管官庁は教育文化省。</li> <li>具体的な活動は、教育省内に設置された基礎教育開発委員会のラインでの承認が必要。</li> <li>初等教育の無償化に伴い、中央政府から全国の公立小学校に対し教育予算を交付するシステム(Capitation Grant / Development Grant)を導入。学校ごとの計画を反映した県の教育計画承認が交付金デイスバースの要件。</li> </ul> |
| 財源    | <ul style="list-style-type: none"> <li>経常予算:タンザニア政府予算(国内歳入、一般財政支援、HIPC 基金)及びドナーによるプーリング・ファンド、セクター財政支援。</li> <li>開発予算(PEDP 予算全体の 5% 以下):大半がドナーによるプロジェクト援助。</li> </ul>   |
| モダリティ | 財政支援にほぼ一元化(12 ドナーのうち日本を除く 11 ドナーが財政支援型*に移行)(プロジェクト実施の要件:活動が基礎教育開発委員会のラインで承認されること。プロジェクトが引き起こす歪みをこえるメリットがある内容であること……。)  |

|         |  |
|---------|--|
| 現時点での成果 | <p>(2002 年 1 月から 2003 年 6 月までの実施をレビューしたジョイント・セクター・レビュー 2003 より。評価には未だ時期尚早。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アクセスと就学:1 年生の入学が前年度比 43%増(2002)。教室の建設は 10,700 件 (目標 13,396 件)。教員の新規採用は進むも、不足は顕著。</li> <li>・ 質:Capitation grant の交付と活用により教科書の配布も増加。教員研修は(pre-/in-service)ともに今後の課題。</li> <li>・ 実施体制:各機関(教育文化省、地方自治庁、各地方自治体、小学校)の役割分担が明確化された。それぞれのアクターの機能強化は課題。</li> </ul> |
|---------|--|

\* プーリング・ファンド、セクター財政支援(世銀)、一般財政支援

出所: PEDP Joint Annual Review 2003, Final Draft 2003.12.20. 及び現地での聞き取り調査による。

## ケース 2: ベトナム一般財政支援 (PRSC III ~ V) Poverty Reduction Support Credit

|       |   |
|-------|---|
| 背景・開始 | <p>2004 年 6 月の理事会付議をめざして、現在 PRSCIII 形成中。世銀は CAS において 3 年にわたる PRSC 供与を想定 (PRSCIII ~ V、baseline)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これに先立ち、世銀は PRSC I (2001 年理事会承認、2 tranches で\$250mn) 及び PRSCII (2003 年 6 月理事会承認、1 tranche で\$100mn) を供与済。</li> <li>・ PRSC I は越政府による I-PRSP 策定プロセス、PRSCII は CPRGS 策定プロセスと重なる。DFID、オランダ、デンマーク、スウェーデンが Trust Fund を通じた協調融資により参画。</li> </ul>  |
| 規模    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ PRSCIII は、1tranche で\$100mn の規模を予定。</li> <li>・ 予算構造: 援助は全歳入の 10%未満 (2001-02 年)。プロジェクト援助が主流、援助額に占めるノン・プロジェクト型援助の比率は 2001 年で 20%、2002 年で 10%(貸付実行ベース)。</li> <li>・ 日本も PRSCIII に対し、有償資金協力による協調融資を検討中。(他の参画ドナーの情報は収集中なるも、PRSC I・II に準ずる可能性あり。)</li> </ul>  |
| 実施体制  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政府とドナー間の対話は、テーマ別のパートナーシップグループが中心(予算内容、執行状況のレビューは限定的)。</li> <li>・ PRSCIII ~ V で推進予定の政策コンディショナリティの主な柱は、市場経済化(貿易自由化、SOE 改革、金融セクター改革、民間セクター育成など)、開発政策(教育、保健、土地政策、環境・資源管理など)、ガバナンス(CPRGS 計画プロセス、公共財政管理、法整備、行政改革、汚職対策、情報提供能力など)。</li> <li>・ 日本は、CPRGS 拡大(大規模インフラにかかる章追加)支援や日越共同イニシアティブ(投資環境改善・投資促進戦略のための政策対話)等でイニシアティブを発揮。今後、PRSCIII を通じて、実施段階で必要となる政策・制度改革支援にも参画意向。具体的には、柱 ~ に日越共同イニシアティブで合意した投資環境整備策の一部を盛り込むとともに、柱 (特に公共財政管理)においてインフラ・プロジェクトへの投資効果確保にも関心。</li> </ul> |

出所: 世銀 Projects Database (PRSC I, II)、Country Assistance Strategy Progress Report (2004)、Vietnam Development Report (2004)、UNDP Overview of ODA in Vietnam (2003) 及び現地での聞き取り調査による。

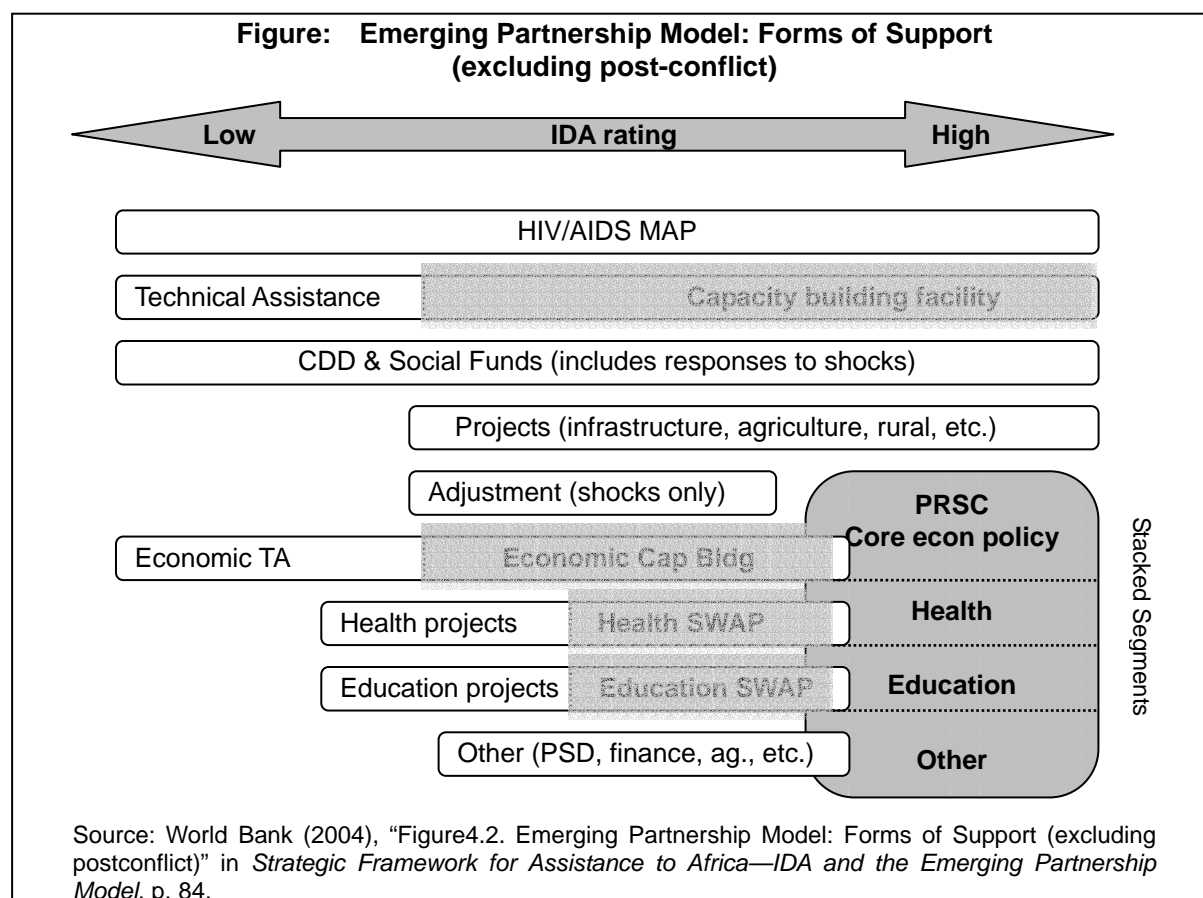
### ケース 3： 灌漑農業振興支援

|         |   |
|---------|---|
| 実施内容と体制 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定の灌漑農業地区においてモデル営農システムを確立。農民組合による灌漑施設維持や営農投入財融資等の農民参加型(自己負担)による持続的管理運営方法を導入。</li> <li>・ かかるモデルをベースとした技術ガイドラインを策定すると共に他灌漑地区にて農民の身の丈にあったボトムアップ型のアクション・プランも策定。</li> </ul>   |
| 課題      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「政策ストラクチャー」: 灌漑農業に対する明確なビジョン、法制度</li> <li>・ 「基礎的技術力」: 灌漑センターの技術的基礎力</li> <li>・ 「財政的基盤」: 上述の法律による維持管理の明確な負担に応じた財政的負担に応じた予算配分</li> </ul> <p>現在、現地ではこういった問題を置き去りにした形でドナーファンディングの大規模灌漑施設への「投資」が進んでいる。プロジェクトでは、フォーラムの開催等を通じてこういったアジェンダを検討する場作りを試みている。</p> |

以上

## 別添 2: 主要ドナーのモダリティに対する考え方 (図示)

【世銀: アフリカ地域】



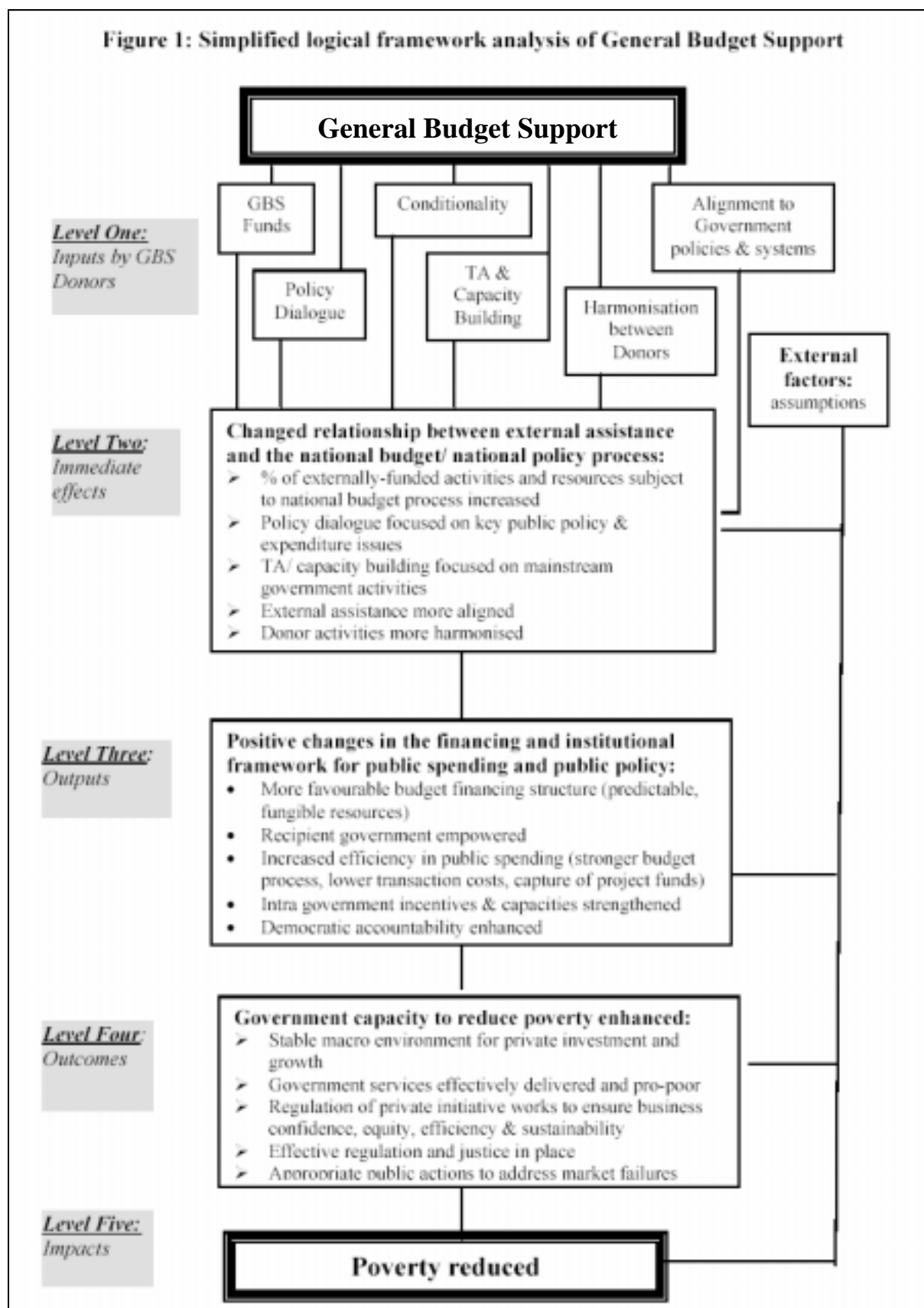
【CIDA: PBAs】

**Table : Distinguishing Program-Based Approaches from Other Approaches**

|  | Project approach <sup>1</sup>  | Program-based approach  | Macroeconomic approach                                |
|--|--|---|---|
| Results and accountabilities                     | Specific to the project  | Program-wide  | Macroeconomic policy reforms and economic adjustment. |
| Targeting or earmarking of funds                 | May involve fairly detailed targeting of funds in the pursuit of project objectives.                                 | May still involve targeting, but the intent is to move away from project targeting towards program targeting. | Funds not targeted.                                   |
| Local ownership and division of responsibilities | Projects may have a high degree of local ownership, or they may not, but most involve a high level of donor control. | PBAs emphasize the importance of local ownership, but include a role for donors at the program level.         | Local ownership often limited.                        |
| Donor collaboration                              | Limited donor coordination   | PBAs seek donor coordination and the harmonization of donor procedures under host-country leadership.         | Moderate to high level of donor collaboration         |

<sup>1</sup> In the CIDA context, this includes the use of regular independently-managed projects, stand-alone technical assistance, Canada Funds projects, and projects funded using the Counterpart Funds approach.

Source: CIDA (2003), "CIDA Primer on Program-Based Approaches," available at [http://www.acdi-cida.gc.ca/INET/IMAGES.NSF/vLUIImages/CapacityDevelopment2/\\$file/Program%20Based%20Approaches-E.pdf](http://www.acdi-cida.gc.ca/INET/IMAGES.NSF/vLUIImages/CapacityDevelopment2/$file/Program%20Based%20Approaches-E.pdf) .



Source: European Commission and Overseas Development Institute (2004), "Proposed Evaluation Framework for

General Budget Support—Framework for country-level case studies," available at [http://www.dfid.gov.uk/Contracts/files/ojec\\_5384\\_annexc.pdf](http://www.dfid.gov.uk/Contracts/files/ojec_5384_annexc.pdf) .